

研究課題名：患者由来オルガノイドを用いた、膵・消化管神経内分泌腫瘍の生物学的特性の解明

1. 研究の対象

2019年以降、慶應義塾大学における先行研究「既存試料の分譲とゲノム情報を利用した研究（研究責任者 佐藤俊朗）」にて“他研究機関への分譲と多様な研究への使用”に同意された方。

2. 研究目的・方法

近年、がんの代謝形質が組織型により異なることが示唆され、そのような組織型特異的な代謝特性が新たな治療標的となる可能性も出てきた。一方、3次元培養を基盤とするオルガノイド培養の技術が発展し、がん研究の領域でも、株化細胞やPDXに代わる新たな試験系として注目を集めている。本研究では、慶應義塾大学を中心に整備された“がんオルガノイドバンク”から、患者由来オルガノイドおよびその付随情報の提供を受け、代謝を中心に、膵/消化管神経内分泌がんの生物学的特性を解析する。なお、上記オルガノイドに関する付随情報については、慶應義塾大学からデータをデポジットされている科学技術振興機構バイオサイエンスデータセンター（NBDC）を介して提供されることもある。研究期間は、2026年3月31日までとする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：腫瘍組織に由来するオルガノイド等

情報：年齢、性別、臨床病期、病理組織型、および核酸の塩基配列情報等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

<研究責任者>

宮城県立がんセンター 研究所 がん薬物療法研究部 上席主任研究員 田沼延公

〒981 - 1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1
TEL 022-384-3151 (代表)